

第32回日本緑内障学会

イブニングセミナー2

日時▶2021年9月10日(金) 18:10~19:10

場所▶第3会場(国立京都国際会館 2F Room B-1)  ライブ配信

隅角撮影からわかる緑内障診断

座長のことば

隅角検査は緑内障の病型診断、それに伴う治療方針の決定に重要であることは言うまでもありません。しかし、隅角鏡による直接検査は時間や技術を要するため少し抵抗を持たれている先生方も多いのではないのでしょうか。

近年は前眼部OCTも導入されていますが、必ずしも解像度良く全周把握できるわけでもなく、小さなPASやKPを見逃したり、そして色情報が全くないため、Sampaolesi線や線維柱帯色素帯も把握できません。全周隅角写真を細隙灯顕微鏡で撮影するのは容易ではありません。今回、360度の隅角カラー画像を撮影・取得可能な装置が誕生したことで、客観的な画像データとして隅角検査ができるようになりました。

そこで、今回のイブニングセミナーでは『隅角撮影からわかる緑内障診断』をテーマに経験豊富なお二人の先生にゴニオスコープを用いた隅角検査のノウハウをご紹介します。

まず、坂田 礼先生(東京大学)には、ゴニオスコープの有用性や効果的な活用事例について講演いただきます。次に、浪口 孝治先生(愛媛大学)には、隅角カラー画像をどのように診断に結び付けるのか実際の症例を交えながら解説いただきます。隅角検査は緑内障だけではなく、眼炎症性疾患の診断、白内障の術前検査などにも極めて重要です。隅角カラー画像撮影装置をご紹介します本セミナーは明日からの診療に役立つものと考えております。多くの先生方のご来場を心よりお待ちしております。

座長



Makoto Aihara

相原 一先生

東京大学大学院医学系研究科
外科学専攻感覚・運動機能医学講座眼科学 教授

演者



Rei Sakata

坂田 礼先生

東京大学大学院医学系研究科
外科学専攻感覚・運動機能医学講座眼科学 特任講師

ゴニオスコープの 有用性と活用事例

GS-1を用いた 術前術後の隅角評価

演者



Koji Namiguchi

浪口 孝治先生

愛媛大学大学院視機能再生学講座 助教

当日ご参加いただけなかった場合や、リアルタイムにご覧いただけなかった場合にはオンデマンド配信をご準備しております。オンデマンド配信:2021年10月1日(金)~10月31日(日)*予定

共催:第32回日本緑内障学会/株式会社ニデック

21緑内障セミナー_T01J001